

施策評価シート（令和元年度～4年度）

分野	4 文化・スポーツ
----	-----------

政策	3 市民が芸術文化・スポーツを楽しむための支援を推進します
----	-------------------------------

施策	1 芸術文化活動への参加促進と人材育成の充実
----	------------------------

施策の目的	高齢化等によるメンバーの減少など、市民の安定した文化活動のためには次代の担い手の育成は急務であり、将来の本市の文化を担う子どもたちに、鑑賞・発表・体験を通じ、文化を身近なものとして捉え、多彩な文化を受け入れることができることを育てることが求められます。また、子どもに限らず、潜在する担い手に対し、様々なジャンルの文化情報を提供するとともに、文化全般に興味を持ってもらう取組が必要です。 子どもの鑑賞・発表・体験機会の充実や、文化の担い手の発掘、育成及び支援を図り、市民の自主的で活発な創作活動を通じて、個性や創造性を発揮できる人材や、地元を誇りや愛着を持つことができる人材を育てます。
-------	---

評価責任者	所属	観光交流文化局 文化振興課
	氏名	課長 望月 雅乃

(1) 総合評価

総合評価	令和元年度	B：施策の目的があまり達成されていない。	理由	人材の育成・発掘等の事業について、目標値を大きく下回った。市民参加型事業についてもイベントの中止による参加者数の減少により左記の評価とする。しかし、個別の事業で見た際に目標を大きく達成している事業がある点などを踏まえて、今後の対応策やイベント内容、周知方法などを検討していく。
	令和2年度	—	理由	新型コロナウイルス感染症の影響により、市民参加型文化事業及び各文化施設における人材育成事業の多くが中止となった。また、設定している指標「市民参加型文化事業参加者数・来場者数」及び「人材育成事業参加者数」について、新型コロナウイルス感染症の影響を受け事業の中止・規模縮小での実施となり適正な実績値を測定することができなかつたため、評価することができない。
	令和3年度	B：施策の目的があまり達成されていない。	理由	新型コロナウイルス感染症の影響により、市民参加型文化事業の一部が中止となったため、設定している指標「市民参加型文化事業参加者数・来場者数」について適正な実績値を測定することができなかつたが、人材育成事業は実施されたため、当該指標を全体の評価として選定した。
	令和4年度	C：施策の目的が達成されていない。	理由	参加者・来場者数は、回復傾向が見られたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、事業の一部が中止となったため、目標を達成することができなかつた。今後は5類感染症移行を踏まえ、市民の文化活動がコロナ禍前の水準に戻るような対応策を検討していく。

※【評価基準】 S：施策の目的が十分に達成されている。A：施策の目的が達成されている。B：施策の目的があまり達成されていない。C：施策の目的が達成されていない。—：評価できない。
※総合評価は、原則、指標の達成状況（達成率）に基づき判断する。ただし、指標の分析結果や指標以外の成果等により、指標の達成状況（達成率）と異なる評価とする場合は、その理由を必ず記載すること。

(2) 成果指標

成果指標	指標名	現状値	年度	目標値	実績値	達成率（%）	評価	目標値の算出根拠
			1	58,600人	56,258人	96.0%	a	
市民参加型文化事業参加者数・来場者数	59,873人(2017)	2	41,000人	6,740人	16.4%	d	本年度は過去2か年と比較し、事業参加者数のコロナからの回復が見られることが想定されるため、令和元年度実績の80%とする。(100未満四捨五入)	
		3	28,700人	24,261人	84.5%	c		
		4	45,000人	34,401人	76.4%	c		
		1	10,400人	9,408人	90.5%	b		
	10,038人(2017)	2	7,300人	3,608人	49.4%	d		本年度は過去2か年と比較し、事業参加者数のコロナからの回復が見られることが想定されるため、令和元年度実績の90%とする。(100未満四捨五入) なお、当該目標値については、既に令和元年度実績の80%に近い値となっているため、他の指標よりも目標値の算出にあたり高い割合を採用している。
		3	8,100人	7,204人	88.9%	b		
		4	8,500人	7,208人	84.8%	c		
		1						
指標成果以外の			2					
			3					
			4					

※【評価基準】 s：105%以上、a：95%以上105%未満、b：85%以上95%未満、c：70%以上85%未満、d：70%未満

(3) 施策を構成する主要事業

主要事業名	主な活動内容	優先順位	年度	現計予算額	前年度からの繰越額	決算額	人工			達成状況	
							正規	非常勤	臨時		
市民参加の文化事業の推進・支援	市民参加育成型事業の実施、静岡市民文化祭及び静岡市芸術祭の開催		1	25,355	0	25,351	3.0	0.0	0.0	○	
			2	25,156	0	13,857	3.0		0.0		
			3	31,878	0	24,778	3.0		1.0		
			4	25,328	0	22,381	3.0	0.0	1.0		
	各種文化事業を実施する個人、団体に対する助成			1	1,500	0	1,180	2.0	0.0	0.0	○
				2	9,500	0	8,535	2.0		0.0	
				3	14,500	0	3,516	1.0	1.0	—	
				4	5,786	0	4,516	1.0	1.0	—	
文化活動を担う人材の発掘・育成・支援	子ども・若者を対象とした鑑賞・体験・発表機会の充実及び各文化施設の運営へのボランティア等の参画支援		1	20,378	0	13,476	8.0	0.0	0.0	○	
			2	17,700	0	10,750	8.0		0.0		
			3	18,706	0	15,497	8.0	—	—		
			4	13,416	0	11,195	8.0	0.0	0.0		
			1								
			2								
			3								
			4								
			1								
			2								
			3								
			4								

※主要事業の優先順位は、各施策の目的や指標を達成する上で、重要度、貢献度などの観点から高いものから順位とする。

※達成状況の凡例（◎：計画より進んでいる、○：計画どおり進んでいる、△：計画より遅れている、—：計画実施時期が到来していない、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった）

(4) 今後の取組や方向性

本施策は、総合評価欄のとおり新型コロナウイルス感染症の影響により、目的を達成することができなかったが、文化事業への参加・来場者は回復傾向にある。コロナ禍により停滞していた市民の文化活動が、以前の水準に戻るよう活性化させるべく、市民参加育成型の事業を文化施設とも連携して実施していくとともに、文化振興事業費助成事業の助成上限額を見直すなど、市民の文化活動の本格的な再開等を見越して下支えとなるよう取り組んでいく。

施策評価シート（令和元年度～4年度）

分野	4 文化・スポーツ
----	-----------

政策	3 市民が芸術文化・スポーツを楽しむための支援を推進します
----	-------------------------------

施策	2 ライフステージに応じた運動・スポーツ活動の推進
----	---------------------------

施策の目的	本市スポーツ推進計画では成人の週1回以上の運動・スポーツ実施率68%を目指しています。H25年度の成人の週1回以上の運動・スポーツ実施率が50.7%であることから、目標を達成するために、現在運動・スポーツを行っていない市民にいきなり運動・スポーツを実施してもらった方が重要となります。日頃運動・スポーツを行わない人が新たに運動・スポーツに取り組む機会を充実させるために、それぞれのライフステージに合わせた各種スポーツ教室、スポーツイベントを実施します。
-------	--

評価責任者	所属	観光交流文化局 スポーツ振興課
	氏名	課長 能口 富

(1) 総合評価

	令和元年度	A：施策の目的が達成されている。	理由
総合評価	令和2年度	—	理由 新型コロナウイルス感染症の影響により、スポーツ教室やイベント開催において、中止や参加人数制限措置を講じたことから、設定している指標（各種スポーツ教室・イベントへの参加者数）について正しい実績値を測定することができなかったため、評価することができない。
	令和3年度	A：施策の目的が達成されている。	理由 目標である各種スポーツ教室・イベントへの参加者数96,140人に対し、目標を上回る99,957人の実績であり目標を達成しているため、評価を「A」とした。新型コロナウイルス感染防止対策を講じた上で、工夫してスポーツ教室やイベント開催を実施した。
	令和4年度	S：施策の目的が十分に達成されている。	理由 目標である各種スポーツ教室・イベントへの参加者数96,140人に対し、目標を上回る121,107人の実績であり目標を十分に達成しているため、評価を「S」とした。新型コロナウイルス感染防止対策を講じた上で、定員を減らして回数を増やし、工夫してスポーツ教室やイベント開催を実施した。

※【評価基準】 S：施策の目的が十分に達成されている。A：施策の目的が達成されている。B：施策の目的があまり達成されていない。C：施策の目的が達成されていない。—：評価できない。
 ※総合評価は、原則、指標の達成状況（達成率）に基づき判断する。ただし、指標の分析結果や指標以外の成果等により、指標の達成状況（達成率）と異なる評価とする場合は、その理由を必ず記載すること。

(2) 成果指標

成果指標	指標名	現状値	年度	目標値	実績値	達成率（%）	評価	目標値の算出根拠
			1	96,140人	96,657人	100.5%	a	
各種スポーツ教室・イベントへの参加者数	92,315人	2	96,140人	63,281人	65.8%	d	スポーツ推進計画の見直しに伴い、推進計画の柱4「ライフステージに応じたスポーツ活動の推進」の指標と合わせる。 本施策の実現した姿は、上記のとおり、「スポーツ・イン・ライフ」が実践されている状態であるため、成果指標としてはライフステージに応じて実施するスポーツ教室、イベントの参加者数とする。 対象教室の見直し（「する」スポーツに絞るためIA1スタジアムの観客数を除く）とアーバンスポーツを追加したことで目標値を前期（275,000人）から変更した。	
		3	96,140人	99,957人	103.9%	a		
		4	96,140人	121,107人	126.0%	s		
		1						
指標成果以外の			2					
			3					
			4					
			1					

※【評価基準】 s：105%以上、a：95%以上105%未満、b：85%以上95%未満、c：70%以上85%未満、d：70%未満

(3) 施策を構成する主要事業

主要事業名	主な活動内容	優先順位	年度	現計予算額	前年度からの繰越額	決算額	人工			達成状況
							正規	非常勤	臨時	
各種スポーツ教室の開催	・青年から中高年、高齢、女性、障がい者など様々な世代、ライフステージを対象としたスポーツ教室の開催 ・初心者スポーツ教室の開催	2	1	18,164	0	17,076	1.1	0.0	0.0	○
			2	17,930	0	13,321	1.1	0.0		
			3	17,851	—	14,737	1.1	0.0		
			4	17,954	—	17,506	1.1	0.0		
誰もが参加したくなるスポーツイベントの開催	・日頃の練習の成果を発揮できるスポーツや、気軽にできる運動・スポーツなど、誰もが参加したくなるスポーツイベントの開催	1	1	56,195	0	49,600	4.9	0.0	0.0	○
			2	55,149	0	37,067	4.9	0.0		
			3	43,939	—	26,464	4.9	0.0		
			4	54,580	—	47,869	4.9	0.0		
			1							
			2							
			3							
			4							
			1							
			2							
			3							
			4							
			1							
			2							
			3							
			4							

※主要事業の優先順位は、各施策の目的や指標を達成する上で、重要度、貢献度などの観点から高いものから順位とする。

※達成状況の凡例 (◎：計画より進んでいる、○：計画どおり進んでいる、△：計画より遅れている、—：計画実施時期が到来していない、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった)

(4) 今後の取組や方向性

本施策は総合評価欄のとおり期待どおりの成果をあげることができたが、依然30・40代女性のスポーツ実施率が低いという現状がある。本市におけるスポーツの主な課題としては、ライフスタイルや価値観の多様化に対応した「気軽にスポーツを楽しむ」機会の創出と環境整備について、より一層の取組が必要であると認識している。そのため、第4次総合計画及び令和5年度から開始した第2期静岡市スポーツ推進計画において、「誰もが楽しむことのできるスポーツの推進」及び「スポーツに日常的に親しむための環境整備」を施策として位置づけ、ライフスタイルに応じて参加できるスポーツ教室の開催やスポーツを楽しむためのイベント開催などを通してライフスタイルに応じた運動・スポーツの推進に引き続き取り組んでいく。

施策評価シート（令和元年度～4年度）

分野	4 文化・スポーツ
----	-----------

政策	3 市民が芸術文化・スポーツを楽しむための支援を推進します
----	-------------------------------

施策	3 芸術文化・スポーツ活動を推進するための環境整備
----	---------------------------

施策の目的	芸術文化・スポーツ活動を身近に体験できる、または感じられるということは、市民が豊かな文化的生活を営む上で重要な要因のひとつです。市民がより豊かな文化的生活を営み、静岡に暮らすことを誇りに思えるよう、世界中の多彩な芸術文化に触れ、文化交流が推進されるような環境整備や、市民がスポーツに気軽に参加する機会を増やすための環境整備を目指します。
-------	--

評価責任者	所属	観光交流文化局 スポーツ振興課
	氏名	課長 能口 富

(1) 総合評価

総合評価	令和元年度	B：施策の目的があまり達成されていない。	理由	令和2年2月まではほぼ例年通りの利用人数・利用率であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年3月の利用者が激減し、目的達成することができなかった。文化施設の一部では、音楽・科学・美術を融合した連携事業も展開しており、今後も引き続き、多様な文化に触れる機会を提供することで、目標達成を目指したい。またスポーツ施設では修繕等の休館影響もあったため、休館等がないR2年度以降は更に目標値に近づけるよう検討する。
	令和2年度	—	理由	新型コロナウイルス感染症の影響により、文化施設及びスポーツ施設について一時休館をしていた。また、再開した後も施設の利用人数制限を行ったことから、設定している指標（利用人数及び利用率）について正しく実績値を測定することができなかったため、評価することができない。
	令和3年度	—	理由	新型コロナウイルス感染症の影響により、文化施設及びスポーツ施設について、一定期間において開館時間の短縮や施設の利用人数制限を行ったことから、設定している指標（利用人数及び利用率）について正しく実績値を測定することができなかったため、評価することができない。
	令和4年度	C：施策の目的が達成されていない。	理由	新型コロナウイルス感染症の影響による施設の休館や利用人数制限は行わなかったため、利用人数及び利用率に徐々に回復の兆しが見られる。しかし、基本的な感染防止対策のための参加定員削減や、台風第15号による被害の影響があり、目標を達成できなかった。

※【評価基準】 S：施策の目的が十分に達成されている。A：施策の目的が達成されている。B：施策の目的があまり達成されていない。C：施策の目的が達成されていない。—：評価できない。
 ※総合評価は、原則、指標の達成状況（達成率）に基づき判断する。ただし、指標の分析結果や指標以外の成果等により、指標の達成状況（達成率）と異なる評価とする場合は、その理由を必ず記載すること。

(2) 成果指標

成果指標	指標名	現状値	年度	目標値	実績値	達成率(%)	評価	目標値の算出根拠
			1	1,628千人	1,414千人	86.9%	b	
文化施設利用人数	1,548千人	2	1,628千人	534千人	32.8%	d	前期の目標値 利用人数1,628千人/年を令和元年度から令和4年度まで引き続き採用：1,628千人×4年=6,512千人	
		3	1,628千人	857千人	52.6%	d		
		4	1,628千人	1,163千人	71.4%	c		
		1	77.00%	72.88%	94.7%	b		
文化施設利用率	76.20%	2	77.00%	47.20%	61.3%	d	前期の目標値 利用率77.00%/年を令和元年度から令和4年度まで引き続き採用	
		3	77.00%	61.00%	79.2%	c		
		4	77.00%	65.30%	84.8%	b		
		1	5,000千人	4,383千人	87.7%	b		推進計画の柱6「スポーツ活動を推進するための支援」の指標と合わせる。 本施策の実現した姿は、施設整備や広報活動を実施し、市民がスポーツに親しみやすい環境が整っている状態であるため、その成果指標としては、全スポーツ施設のスポーツ施設利用人数とする。 静岡市人口ビジョンの推移表では2010年から2025年までに8.9%減少が見込まれているため利用者数の自然減少は免れない。前期結果及び自然減少分を見込み、前期目標値(5,236千人)から目標値を変更した。
2	5,000千人	2,836千人	56.7%	d				
3	5,000千人	3,950千人	82.2%	c				
4	5,000千人	4,044千人	80.9%	c				
スポーツ施設利用人数	4,802千人 (平成29年度)							
指標成果以外の								

※【評価基準】 s：105%以上、a：95%以上105%未満、b：85%以上95%未満、c：70%以上85%未満、d：70%未満

(3) 施策を構成する主要事業

主要事業名	主な活動内容	優先順位	年度	現計予算額	前年度からの繰越額	決算額	人工			達成状況
							正規	非常勤	臨時	
清水駅東地区文化施設整備（PFI）	清水駅東地区に整備した文化ホールの建設費割賦払い	2	1	56,226	0	56,225	2.0	0.0	0.0	○
			2	56,274	0	56,274	2.0	0.0		
			3	56,322	0	56,322	2.0	0.0	0.0	
			4	270,898	—	270,595	2.0	0.0	0.0	
文化・スポーツ施設の整備・運営（文化施設分）	市民の快適に文化活動を楽しむことができる環境整備	1	1	1,466,934	0	1,392,524	10.0	4.0	0.0	○
			2	1,782,945	0	1,699,925	10.0	4.0		
			3	1,741,047	61,640	1,705,672	10.0	4.0	4.0	
			4	1,703,024	—	1,664,905	10.0	4.0	4.0	
文化・スポーツ施設の整備・運営（スポーツ施設分）	市民の快適にスポーツを楽しむことができる環境整備	1	1	2,325,223	0	2,214,964	12.0	2.0	0.0	○
			2	2,301,819	0	2,196,878	12.0	2.0		
			3	2,125,498	0	2,051,725	12.0	2.0		
			4	2,313,279	0	2,289,278	12.0	2.0	0.0	
静岡市民文化会館再整備事業	・施設に求められる機能や整備手法などの調査・検討と再整備方針の決定 ・再整備方針に基づく基本構想・基本計画の策定 ・適切な整備手法の検討	3	1	20,000	0	18,700	3.0	0.0	0.0	○
			2	29,000	0	0	3.0	0.0		
			3	28,930	28,930	28,930	3.0	0.0	0.0	
			4	—	—	—	—	—	—	
学校等体育施設の活用	市立小、中学校等に設置した学校等体育施設利用運営協議会への運営の支援、施設利用許可	4	1	70,339	0	69,553	2.0	1.0	0.0	○
			2	72,654	0	69,557	2.0	1.0		
			3	77,441	0	75,260	2.0	1.0		
			4	69,011	0	66,142	2.0	1.0	0.0	

※主要事業の優先順位は、各施策の目的や指標を達成する上で、重要度、貢献度などの観点から高いものから順位とする。

※達成状況の凡例（◎：計画より進んでいる、○：計画どおり進んでいる、△：計画より遅れている、—：計画実施時期が到来していない、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった）

(4) 今後の取組や方向性

本施策は総合評価欄のとおり新型コロナウイルスの影響等により目的達成できなかったが、コロナによる制限が緩和され、今後は市民の芸術文化・スポーツ活動に親しむための環境整備がより一層求められる。一方、老朽化に対応しつつ安全安心な施設を提供するための維持管理や、多様化するニーズへの対応を課題として捉えている。そのため、第4次総合計画において「スポーツに日常的に親しむための環境整備」及び「市民が文化を通じて生きる喜びを感じられる環境づくりの推進」を施策として位置づけ、日常的な維持管理や老朽化した施設の再整備を通して文化・スポーツ活動を推進するための環境整備に引き続き取り組んでいく。